

GM

Governor's Monthly Letter

ガバナー月信
会長・幹事殿

Rotary
District 2710

2025-26 ROTARY
INTERNATIONAL
District 2710

Vol. **07**
2026.1

「会員増強」の意味、その①

会長・幹事の皆さま、そして会員の皆さま、こんにちは。

会員増強は、なぜ大切なのでしょう？

2710地区内のほとんどが人口減少地域で、会員減少は必然的なものかもしれません。

でも、同期のガバナーが教えてくれました。会員増強には2つの意味があるのだと…

第1の目的は「クラブの存続」です。クラブにはその創立年に関わらず、クラブ独自の文化と歴史があります。クラブは会員に学びと成長を、地域社会には奉仕を、世界には国際理解と平和を提供します。将来のロータリアンや地域社会のために、このような素晴らしい組織を残す事は既存会員の使命です。

第2の目的は、会員の学びと成長のために「新会員の経験と知識が必要」という事です。新会員から学ぶこと、そして新会員に伝えること、その双方が大切なのです。

私たちには、成功・失敗を問わず、多くの経験とネットワークがあります。多くの新しい仲間と、それを分かち合いましょう。

会員増強は、決して国際ロータリー (RI) や地区、ましてやガバナーの為ではないのです。

Enjoy Rotary

皆さんロータリーを楽しみましょう。

(参考文献: RID2780 ガバナー月信Vol.5)



Contents

「4つのテスト」は職業奉仕だけ？ ……	02	RAC紹介 徳山RAC ……	09
職業奉仕月間に当り「職業奉仕は難しい？」…	03	米山記念奨学生研修旅行 報告 ……	10
第2710地区 国際ロータリー地区大会 ……	04	RI第2690地区(鳥取、米子市)地区大会に参加して…	12
松永RC創立60周年記念式典 ……	06	RI第2510地区(北海道、函館市)地区大会に参加して	13
呉南RC創立55周年記念式典 ……	07	2025-26年度 IM開催予定表 ……	14
RAC紹介 広島中央RAC ……	08	新会員紹介/会員の増減・出席率 ……	15

《今月の特別月間》

職業奉仕月間





「4つのテスト」は職業奉仕だけ？

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 ガバナー
土肥 慎二郎

皆さんのクラブでは、どなたが「4つのテスト」を唱和されていますか？

「4つのテスト」は、1932年、シカゴRCのハーバート・テラーという人が作ったものです。

世界大恐慌のあおりを受け、莫大な借金を抱え倒産の危機に瀕していたクラブ・アルミニウム社の経営再建を任された彼は、従業員が正しい考え方をもって行動することが、会社全体の信用を高めることになると考えました。

そこで社員全体が簡単に憶えられて、自分を取り巻くすべての人に対して応用できる道徳的かつ倫理的な指標を考えました。

そして、これを社員が徹底することによって、見事に会社は立ち直ったのです。



富美船舶株式会社行動基準

「4つのテスト」

- 一、嘘・偽りはないか
- 二、関係者すべてに公明正大か
- 三、信用を高め、より良い関係を築けるか
- 四、関係者すべてに有益か

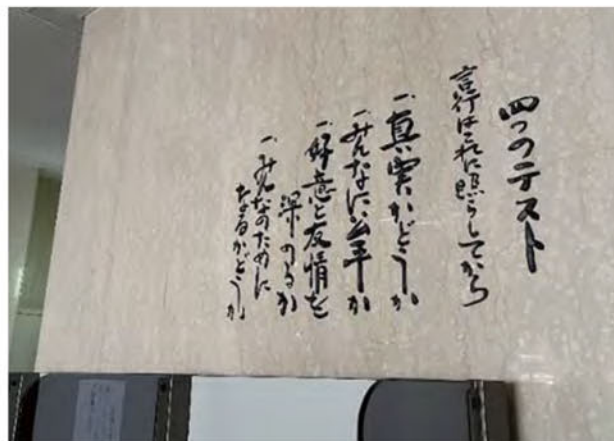
私の尊敬するロータリアン、
伊藤富美雄さん(江田島RC)は、こんなカードを作りました。

このテストについては、「あくまでも経営上の指針」であるとか、日本語訳がおかしいとか、4つだけどあくまで1つ(Four-way testsではなく単数だから)とか、様々な意見があります。

しかし1954年に、彼が国際ロータリー(RI)会長になった時、著作権をRIに譲ってからは、この「4つのテスト」は急速な勢いで世界中に広まり、百ヶ国以上の言語に訳され、会社はもちろんの事、学校や駅など公共の場にもポスターやステッカーとして使用されるようになりました。

敬虔なクリスチャンであったH.テラーは「神様は、慈しみと公正さ、そして正義を行っている者を良しとする」という聖書の言葉から、このテストを思いついたそうです。

とすれば、このテストは職業奉仕だけのものではなく、ロータリアンとして誰もが応用できる行動規範となりうると思います。



私の父は病院の壁に、このテストを彫ってしまいました。



職業奉仕月間に当り『職業奉仕は難しい？』

国際ロータリー第2710地区 パストガバナー
大之木 精二

久し振りに頂いた貴重なガバナー月信の紙面である。今更月並なことを書いては、「未だその程度のことしか書けないのか」と識者の失笑を買うだけだから、私なりに熟考の上、前段では少し変った視点から、後段ではロータリー初心者を対象にした職業奉仕のおさらいを記述することにした。

【前段】〈職業奉仕はよく分からない、難しい？〉

(イ) 分らない、難しいのではなく、多くのロータリアンは職業奉仕の森の中で迷子になっているだけのことではないのか。根底では同じでも人によっては自説を主張する余り、異なる視点での職業奉仕論を展開しているに過ぎない。先ず私達自身が職業奉仕の何を求めているのかのスタンスを考え直すこと。職業奉仕という森に一本の権威ある大木は存在しない。我こそ職業奉仕本尊なるぞといった巨木を求めることが間違いの元で、生えているのはそれぞれの生育環境が異なる多くの小木の群生なのである。職業奉仕で大事なものは理屈ではなく実践なのだから、それらの小木の中に必ず自分に向いた、納得できる実践の仕方を教示してくれる木が何本かあるはずである。それを見付けることが出来れば、ほんやりとでも職業奉仕の影があなたの眼前に浮かんでくるだろう。私はそう考えている。

P・ハリスも、これが正解だといった決め付けの教条主義を嫌い、10人のロータリアンが居れば、10人十色の理論があつていいと言っている。ロータリーにはそれだけのゆとりと寛容がある。あなたが自分はこれで行くという職業奉仕の小木を発見し、一日も早く迷子から解放されることを願って止まない。

(ロ) 五大奉仕といった並列的表現が問題。職業奉仕以外は奉仕の対象がはっきりしているのに、職業奉仕は「職業を通じて他者に奉仕する」とすこぶ抽象的表現になる。目に見えないその人個人の職業生活の中に組み込まれていて、外からは見えないロータリアンとしての根幹だから(これを陰徳と称する人もいる)、あくまで中核にあるのが職業奉仕であつて並列的に論じるものではない。他部門は全て職業奉仕から派生していることを理解すべきである。

(ハ) 社会奉仕と職業奉仕の混同。社会奉仕の受益者は社会一般の人、職業奉仕で最後に恩恵を受けるのはロータリアン自身であることを知れば、少しは理解が進むかもしれない。日本には「情は人のためならず」という名言が昔からあるではないか。

(ニ) 職業は自分が生きていく上での大事な手段でもあるから、そのベクトルは「利己(自分向き)」。一方奉仕は他者に対して行うものでそのベクトルは「利他(相手向き)」。この方向が全く異なるベクトルを一緒にした所にも問題があるが、現在これは受容するしかあるまい。

(ホ) RIによるクラブがらみの職業奉仕論の出現。職業奉仕は前述の如くあくまでロータリアン個人に帰属する実践なのに、クラブが関与しその責務を共有すべしなどと迷論を流布しているのはいかなものか。

きりがないので前段は字数の制約もあり、この程度にして後段に移ろう。

【後段】〈職業奉仕論のおさらい〉

職業奉仕(サービス)を初めてロータリーに持ち込んだA.F.シェルドン(シカゴRC)の説が基本でありわかりやすいのでとりあげる。職業モラルのかけらもない荒んだ世相の中でも、順調に顧客を増やし且つ繁盛し続ける業者の存在に気づき、彼等に共通するものこそ「サービス」(止むを得ず奉仕と邦訳しているが、日本語には適訳に該当する言葉はない)であると提唱した。共通するものとは、(a)適正な価格(b)経営者や従業員の接客態度(c)品揃え(d)公正な広告(e)取り扱い商品についての知識(f)徹底したアフターサービスetc。これらが顧客満足度を高めてリピーターの獲得に繋がり、結果的に事業の存続をもたらす。シェルドンが説いた職業奉仕(サービス)とはこのことであつて、「常に顧客のお役に立つ心であなたの職業を営めば、それが信用となって更なる利益を与えてくれますよ。」彼はその理念を、「One profits most who serves best」で表現している。別人の提唱による「四つのテスト」は、職業奉仕の実践度をチェックする指針として、拳拳服膺を忘れてはならないものである。

職業奉仕の中核にあるのが職業倫理で、私達はそれを例会で学ぶ。例会は自己研鑽、切磋琢磨等で経営上の情報を交換する場であるから、例会出席こそ職業奉仕の出発点と言っても過言ではない。

ロータリー類似の団体は世に少なくないが、職業奉仕という概念を持っているのはロータリーだけである。ロータリーは人のお役に立ちたいと願う良質高次の職業人に対して、更に一層高い精神的境地をその職業生活に拡充して欲しいと言っており、これが職業奉仕の真髄と言えるのではないだろうか。

私の父もロータリアンで、恐らくロータリーで学んだことの受け売りだろうと思うのだが、常々私達に言っていた言葉がある。「儲けるのではなく、儲かる会社にしろ」。「儲けるは欲、儲かるは道(倫理)」。これも職業奉仕の一端を物語る寸言として私は大事にしている。

最後にあえて職業奉仕をまとめるなら、次のような表現になるのではないか。

「職業奉仕とは、サービス(人様のお役に立つ)を常に職業活動の中核におき、人様の喜びが自分の喜びとなるような高い倫理の向上に努め、その思いと実践を世の中に広めていくこと。」



第2710地区 国際ロータリー地区大会

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 地区大会実行委員長
三宅 秀信

このたび、2025年10月17日・18日の二日間にわたり、国際ロータリー第2710地区大会「地区大会 in 東広島」を無事開催することができました。大会を成功裡に終えることができましたのは、国際ロータリー会長代理三木明様をはじめ、大会1日目に基調講演をいただきました国際ロータリー第2690地区バストガバナー松本裕二様、歴代ガバナー、地区内各クラブの皆様、そしてご来賓の皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、実行委員会を代表して心より御礼申し上げます。

本大会は、単に一堂に会して親睦を深めるだけの場ではなく、私たちが日々積み重ねてきた奉仕活動の意味をあらためて見つめ、ロータリーの理念と精神を共有し、その輪を未来へと力強く広げていくための大切な節目でありました。土肥ガバナーが掲げられた“Enjoy Rotary ～思いやりと奉仕の心で～”というテーマは、そのことを象徴する言葉として、二日間の全てのプログラムの根幹を成すものでした。

私たちはロータリー活動の原点に「奉仕の喜び」と「思いやりの心」を置いています。奉仕とは義務感ではなく、そこに関わることそのものを楽しみ、互いを尊重する関係性の中から生まれてくるものです。今回の大会を通じて、参加者全員がその理念をあらためて体感できたのではないかと感じております。ホストクラブである

東広島21ロータリークラブ、そしてコ・ホストとしてご尽力いただいた西条ロータリークラブ、東広島ロータリークラブのメンバー同は、このテーマを胸に、参加される皆様が心地よく交流し、学びを深めていただける場となるよう準備を進めてまいりました。

また、早朝より開催されました「青少年とロータリーの時間」に参加された皆様の活動報告にも、深く感銘を受けました。若い世代の力が今後のロータリーを力強く担っていかれることを期待するとともに、その真摯な姿勢に大いなる希望を感じました。

大会期間中、各クラブの皆様が積極的に議論や意見交換を行っておられる姿が非常に印象的でした。地域社会での取り組みの工夫や課題、今後の展望などが活発に語られ、その一つ一つが新たな学びと刺激を生み、地区全体としての連帯感がより深まったように思います。ここで生まれた交流が、今後の奉仕活動をより豊かなものへと導き、各クラブのさらなる発展につながっていくことを確信しております。

記念講演では、俳優・作家・タレントとして幅広くご活躍されている辰巳琢郎氏をお迎えし、“Enjoy Rotary”のテーマを氏ならではの視点で語っていただきました。芸術・文化・社会貢献など、多方面にわたるご経験を踏まえたお話は示唆に富み、多くの参加者から大変好評





をいただきました。奉仕の心をどのように自分の生き方や地域活動に結びつけていくのか、そのヒントを持ち帰られた方も多いのではないかと思います。

本大会を支えてくださったのは、何よりもご参加いただいた皆様お一人おひとりの存在そのものです。実行委員会として、皆様と共に充実した二日間を過ごすことができましたことは、大きな喜びであり、心からの感謝に堪えません。

また、開催地・東広島市の自然豊かな環境、酒都・西条に代表される文化の魅力、そして地域で働き暮らす方々の温かさにも触れていただく機会となり、多くの参加者から「また訪れたい」という声を頂戴しました。

地元クラブとして、これほど嬉しいことはありません。地域の皆様にも深いご理解とご協力を賜りましたことを、ここにあらためて感謝申し上げます。

最後になりますが、今回の大会で得られた学びと友情が、皆様の今後のロータリーライフをより豊かなものへと導き、地域社会の未来に温かい光を灯す原動力となることを心より祈念いたします。皆様と共にこの大会を創り上げることができたことは、私にとって生涯忘れ得ぬ誇りであり、かけがえのない財産です。

二日間、本当にありがとうございました。皆様のご健勝とご活躍を祈りつつ、報告と御礼の言葉とさせていただきます。





松永RC創立60周年記念式典

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 松永RC 60周年実行委員会 副実行委員長
小川 正博

2025年10月26日(日)松永ロータリークラブ創立60周年記念式典を広島県福山市の福山ニューキャッスルホテルにて、土肥慎二郎ガバナー及び、パストガバナー、ガバナー補佐、近隣クラブの会長幹事30名の御来賓をお迎えし107名で開催致しました。

記念式典は前田直秀会長による2727回目の点鐘で始まりしました。

1965年10月20日松永地域の青年29名(平均年齢45.9歳)によって松永ロータリークラブが創立されました。以来60年、数々の諸先輩方達の、様々な奉仕活動を通じて、「協調と友愛」というクラブの伝統を築き上げ、育んでこられました。

記念式典の冒頭では、29名の青年がどの様な思いで、創立当時会員を増強し、ロータリーの奉仕活動に携わりながら、会員間の相互理解を深めて、友情を築かれてこられたのか、そして現在までの奉仕活動や、当クラブが今まで行った継続事業や米山奨学生及び、地区補助金による支援などを、記録にした「松永ロータリークラブ60年のあゆみ」の上映を行い、諸先輩方のこれまでの功績と、現在までの活動を会場の皆様とで共有をさせて頂きました。

又、記念事業委員長から今回の60周年にあたっての記念事業の4事業の報告をおこないました。

①バスケットボール教室の実施

8月2日(土)広島のプロバスケットボールチームのドラゴンフライズの選手とコーチ6名を迎えて、地元中学校3校によるバスケットボール部の生徒77名とプロの選手とのプレーを通じた交流を行いました。今回の教室では、学校の垣根を越えてのチーム編成で学校別で選手同士の交流が実現し、お互いのプレーを通じて友情を育み、目を輝かせていました。

②福山市松永町の中心部にある長和島公園に親御様が子供たちの憩いの場となればと思い四阿を建設・設置・寄贈を行います。

③福山市松永図書館に創立以来図書等の寄贈を行って参りました。今回も子供たちや、地域住民の皆様に合わせて、図書の寄贈を致しました。

④福山市緑町公園へ松永ロータリークラブ全会員及び関係者で「ばらオーナー」を応募致しました。

祝賀会では、コンセプトをガバナー信条の「Enjoy Rotary」と松永RC会長クラブ運営方針の「ロータリーを楽しむ」から祝賀会は参加をして頂いた皆様楽しんで頂く事を実行委員会で検討し企画させて頂きました。

まず、原田嘉子様による、Jazzや即興演奏などと融合された、迫力ある「ひとり和太鼓」でオープニングの幕が上がりました。数々の太鼓を操り、熱気と迫力ある演奏で場内を魅了し、その後、「賀茂鶴酒造 担ぎ込み保存会」の皆様により、会場内を木遣唄を唄いながら酒樽を担ぎ場内を練り歩き、土肥ガバナー、金子パストガバナー、晝田パストガバナー、前田会長、矢野60周年実行委員長により、未来を切り開く鏡開きを行い、皆様で乾杯を致しました。

また、アトラクションではJazzシンガーの田中りか様とピアニストの中島徹様による「ピアノヴォーカルデュオ」で日本語のポップスをジャズ風にアレンジをした曲の演奏に会場全体が一体感満載で盛り上がりしました。

今回の60周年記念式典はコロナ禍もあり、松永ロータリークラブの半数近い会員が今回、初めての周年事業となりました。私たちは、この周年事業を通じてロータリークラブをより理解し、今後更なる、ロータリークラブの奉仕活動・委員会活動を通じて、会員間の相互理解を深め、今後10年、20年、30年を引き続き、松永ロータリークラブらしい活動を目指していききたいと思います。

土肥ガバナーには交通機関の事情により、2次会まで参加をして頂き、私たちは大変楽しい時間を過ごす事が出来ました。感謝をしております。





呉南RC創立55周年記念事業・式典

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 呉南RC 会長
平尾 圭司

令和7年11月1日に、呉南RC創立55周年記念事業と式典を執行了いました。

我がクラブは5が付く年の周年に盛大な事業を行う事が慣例となっています。

今から10年前の創立45周年では、元キャスターの鳥越俊太郎氏をお招きし、がん予防についての講演会を実施しました。そしてこの度の創立55周年記念事業は、我々RCを一般市民に知って頂く「公共イメージの向上」を図る事を主眼に、明治天皇の玄孫【竹田恒泰氏】を講師としてお迎えし、全体テーマ《持続可能な良い変化を生むために》とし、第一部トークセッション【問題提起ー広島県・呉市が抱える人口減少と地場産業】と題して、私平尾が、竹田講師に呉市の基幹産業が撤退している現状資料を提示し、地場産業の衰退と人口減少に対し質問を行い、ロータリービジョン声明にある《～地域社会で…持続可能な良い変化を生むために～》という文言と、地方創生の意義《～日本の課題…持続可能で魅力的な社会を創る為の取組～》を準え呉市の特色である海事が『日本を守る海防へ意識する事で再生出来ないか？』と竹田講師に質問をぶつけ、そのやり取りを市民にご披露しました。

続いてこの問題のより第二部は《歴史から紐解く海洋国家日本の海防の重要性》と題し、島国日本は海で囲まれており、海軍工廠で戦艦大和を建造し、造船の街として栄えてきたこの呉市が日本を守る礎になれるのか？を仮説とし、竹田講師に語って頂きました。

私は市民に対し、ロータリアンが地域に対し良い変化を生むためにどのような事を考えているのか？を知って

頂く機会をこの創立55周年の事業を通し、利用させて頂きました。

何故なら、超我の奉仕の神髄である【善い行いをする】為には、多くの仲間が必要であるから！共感して頂ける人を増やす為に基調講演を実行致しました。ご参加頂いたロータリアンの皆様、ありがとうございました。

続いて呉南RC創立55周年式典を挙行致しました。

ご来賓に新原市長・阿原副市長・中田議長をはじめ、呉南RCとの繋がりがある地元団体会長様、そして2710地区RCからは土肥ガバナー・地元呉から大之本パストガバナー・そして昨年IMで私が実行委員長としてお世話になった井内パストガバナー、2710地区グループ8の各会長様、更には呉南RCが10年前にグローバル事業がご縁で友好クラブとして提携を結んでいるフィリピンアンヘルスノースRCのリンカーン会長以下5名のパスト会長が駆けつけて下さいました。

式典では、私の式辞や新原市長・土肥ガバナー・アンヘルスノースRCリンカーン会長のご祝辞を頂き、その後、アンヘルスノースRCとの今後10年間の友好クラブ調印式を行いました。これで昨年より計画をしているグローバル補助金を活用した国際奉仕プロジェクトが実行出来る事になりそうです。

ロータリアンは地域を基盤とし、世界に存在します。

我々ロータリアンはその組織・人脈を活用して【良い事を行う】為に、今！自分が抱える問題に対して行動していく奉仕団体でありたいと改めて感じました。

我が呉南RCを今後とも、ご支援頂きます様、何卒宜しくお願い致します。





RAC紹介 広島中央RAC

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 広島中央RAC 会長

原 郁哉

(広島中央RAC)

本年度、広島中央ローターアクトクラブ会長の原郁哉と申します。

簡単ではございますが、自己紹介をさせていただきます。岡三証券株式会社に勤め、五年目を迎えます。地元は神奈川県のア野市です。幼少期から高校生までを神奈川県で過ごし、法政大学へ進学しました。場所は東京でしたが、実家から通っておりました。就職を機に広島に赴任することになりました。中学校の修学旅行以来の広島で、当時はとてもガッカリしましたが、今では住めば都という言葉があるように、広島が第二の故郷だと思っています。入社して一年目の頃、当時の支店長に紹介されたことをきっかけに広島中央ローターアクトクラブに入会しました。

私は今回急遽代役として会長を務めさせていただくことになりました。現在メンバーは4名であり、地区ローターアクト内ではワーストとなっております。当クラブは次年度創立10周年を迎え、加えて私自身も地区ローターアクト代表を拝命させていただく運びとなりました。10周年をクラブでどのように迎えていくかを、次年度に向けて準備をしていこうと考えております。

クラブターゲットは「キャリアに繋げる」です。ローターアクトでの活動は、普段の仕事では交流することができないような方々との出会いがあったり、クラブ運営や地区の運営を通して様々なことを勉強させていただける場だと感じております。その中でこの若い時期から様々な経験をつめる組織であり、こういった活動をさせていただきながら、自身の仕事や生活に活かしていこうという思いから、このクラブターゲットを選定いたしました。

当クラブとして、例会を二つほどご紹介させていただければと思います。

一つ目は地域清掃例会です。広島市佐伯区を拠点として活動されている、宿題やつけ隊様と地域の清掃

活動をする例会になります。元気いっぱいな小学生達と2時間ほど交流をしながら、佐伯区の日市駅周辺でゴミ拾いを行い、普段関わるのが少ない子供達とも交流をすることができます。みんなで楽しく奉仕活動をするということで、会員の中でも人気のある例会の一つとなっております。

二つ目は宮島例会です。宮島例会では主に地区RA代表を招き、宮島で様々な体験をする例会となっております。内容としてはもみじ饅頭の手作り体験、杓子の手作り体験を行っております。この二つは広島の宮島ならではの体験となっており、普段広島に住まれている方も実際に体験される方は少ないと聞いております。毎年紅葉が楽しめる時期に合わせて開催しておりましたが、今年度は開催時期を変更しつつ、同様の内容で実施する予定です。日本三景、世界遺産である宮島を肌で感じていただくことで、広島の魅力を伝えることができる、そんな例会であると感じております。

課題点がたくさんあると感じております。提唱ロータリークラブともっと意見交換を行い、私達の考えをお話したり、ロータリーの皆様から知恵をいただいたりする機会を設けるべきだったと思っております。しかしながら、メンバーみんなが広島中央RACをより良い方向にしていきたいという気持ちは同じだと思います。しっかりメンバーと一致団結して、無事10周年を迎えられるように頑張りたいと思います。

20代という人格形成期に日頃体験できないような様々な活動を通じて経験を積み、かつ多くの方々と交流を深め、自己成長する事のできる「ローターアクト」という組織に所属させていただいていること。ロータリーの皆様のご支援があつてのことだと思っております。

引き続き、ご指導ご鞭撻をいただけますことをお願い申し上げます。





RAC紹介 徳山RAC

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 徳山RAC 会長
浅谷 菜央
(徳山RAC)

徳山ローターアクトクラブの会長を務めます浅谷菜央(あさたになお)と申します。初めてガバナー月信に寄稿させていただきます。2022年12月に入会しローターアクトでの様々な交流を楽しんでおりましたが、この度徳山RACの会長としての責務を任命されました。徳山RACが始まって以来、3人目の女性会長となります。

簡単に自己紹介をさせていただきます。現在明治安田生命相互会社にて事務サービス・コンシェルジュとして勤めております。大学進学を機に地元徳山を離れておりましたが、地元で働きたいという思いがあり戻ってきました。入社してしばらくし、当時の上司に紹介されたことをきっかけに入会しました。

■クラブターゲットは「大航海！」

徳山RACは1973年10月18日に創立し、50年以上に渡り活動を続けています。山口県で唯一活動をしているRACとなってしまいましたが、今年度から会員数が再び2桁となり、決意を新たに活動を展開しています。

提唱クラブの徳山RCのみならず、岩国RCの壓迫様からのご支援を受け、仲間を増やすことができました。この勢いを止めることなく、そして仲間全員で新しい徳山RACを創っていきたい。楽しいことも大変なことも一緒に乗り越えられる仲間でいたい、という思いを込め、今年度は「大航海！」というクラブターゲットを掲げ活動しております。

地区活動にも積極的に参加し、同じ第2710地区の広島県をはじめ他県のローターアクターと交流することで視野を広げています。例会では会員卓話を通じた学びに加え、活動拠点の周南市以外での例会(岩国市など)や屋外例会にも挑戦しています。

■今年度の主な例会

今年度行いました主な例会を2つ、ご紹介させていただきます。

①若手&ロータリアン異業種交流会(2025/9/20)

徳山にある青空公園で開催されたビアフェスを会場とし、オープン例会として異業種交流会を開催いたしました。アクターの友人の方々、そして他RCの方にもご参加いただき、参加者同士の活発な交流を深めることができました。

総勢16名での賑やかな会となり、ビールを片手に仕事の話題やRACの活動について、和気あいあいとした雰囲気の中で語り合いました。オブザーバーには奉仕活動に馴染みのない方もいらっしゃったため、RACにお声がけする良いきっかけにもなりました。



②徳山例会(2025/10/25)

地区RA代表をお呼びして実施する公式訪問では「徳山例会」として、徳山の魅力にふれていただく会を開催しています。今年度はガバナー輩出クラブが日本酒で名高い東広島21RCであることにちなみ、徳山の地酒に焦点を当てて実施いたしました。

周南市の銘酒「原田」で知られる株式会社はつもみち様にご協力いただき、酒蔵見学の機会を頂戴しました。酒米の選定から仕込み水に至るまで「正真正銘山口県産」というこだわりを感じる純米酒から、その情熱がそのまま凝縮されたかのような奥深い旨味が感じられ、徳山RACならではの「おもてなし」を行うことができました。

■今後に向けて

ここまで徳山RACが復活できたのは、数多くの方のご協力があったことに違いありません。先輩会員たちが築いた歴史を礎に、入会したからこそできた経験、仲間づくり、そして楽しいと思える例会づくりを体現してまいります。

クラブターゲットでも触れた通り、自クラブだけの活動にとどまることなく、より多くの方との交流、出会いを大切にし、残りの期間も活動していきます。

土肥ガバナーをはじめ、多くのロータリアンにご支援いただいて活動ができております。恩返し的心を行動に。海峡マラソンのポリオデーでは土肥ガバナーのフルマラソン完走に非常に大きな感動と勇気をいただきました。

私たち自身もRACの活動を通して学ぶだけでなく、届けられる人材になれるよう精進してまいります。



米山記念奨学生研修旅行 報告

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 米山奨学会委員

谷川 涼子

(宇部西RC)

10月29・30日の二日間、新山口駅に奨学生20名(全27名中)、地区米山委員3名(岡本・高原・谷川)が集合し、山口県中部を巡る研修旅行へ出かけました。

「自由にやっていいですよ。お任せします。」——廣田委員長のこの一言により、地区米山委員初年度の私が突然大役を担うことになりました。

当日、落ち着かない気持ちで臨みましたが、真っ青に広がる秋空が私たちを迎えてくれ、不安げに集まってきた奨学生たちの心を和ませてくれたように思います。二日間とも風ひとつない日本晴れに恵まれたことは、何より有難いことでした。

車中で食べる予定だったお弁当も、好天に合わせて急きょ「きらら浜」でのピクニックに変更。これは、今回の旅を支えてくださったバス運転手・金澤さん(宇部西RC所属)の機転によるもので、旅の良いアクセントになりました。



【1日目】

新山口駅

→ UBE株式会社 見学

→ UBE三菱セメント保有「日本一長い私道」
(31.94km)を特別許可を得て通行

→ 美祢市・伊佐鉱山 見学

→ 長門湯本温泉 SOIL(宿泊)

1897年創業の化学会社・UBE株式会社は、宇部市の歴史そのものでもあり、私にとって非常に興味深い企業でした。何より、奨学生たちがキラキラした目で説明に聞き入る姿が印象的でした。ヘルメットを装着して訪れた伊佐鉱山は、まるで巨大なコロシウムのように圧倒されました。

今回、私が最も気を配ったのは「宿泊」と「食事」でした。豪華である必要はありませんが、親睦を深め、心に残る場所であってほしい——その点で、今年春にオープンした長門湯本温泉 SOIL は、ドミトリタイプの部屋や談話室があり、この研修に最適でした。新しい施設に学生も私たちも心躍りました。

食事については、事前に事務局・布施さんをお願いしてアレルギーや宗教上の制限を調査し、ホテル・レストランへ共有。どこも大変丁寧に、完璧な対応をしてくださいました。

1日目の締めくくりは、音信川を挟んでホテルの向かいにある焼鳥店での宴会。席数の都合で奨学生20名と米山委員5名(この時点で西本さん、澤田さんが合流)に分かれたことで、結果として学生たちの親睦が一気に深まったようでした。夜の湯本温泉の風情も格別で、互いに写真を撮り合いながら大いに楽しんでいました。



初めて温泉に入ったというベトナムの学生2名が、嬉しそうに微笑みながら湯舟で語りかけてくれ、その素直な言葉にこちらが癒されました。

【2日目】

ホテル

→ 元乃隅神社

→ 秋吉台カルスト展望台

→ 瑠璃光寺

→ 新山口駅

2日目は観光と買い物を楽しみ、あっという間に別れの時間となりました。帰途のバスでは学生一人ひとりが感想を述べてくれました。

その最後に、ある学生がこう締めくくりました。
「皆さん、本当に楽しい時間をありがとうございました——で終わってはいけないと思います。この経験に感謝し、今度は私たちが返していかなければなりません。私は必ず将来ロータリアンになって恩返しします。」

日本語が特に堪能な韓国出身の彼は、瑠璃光寺で他の学生に英語を交えながらおみくじの内容を説明してあげていたムードメーカーでもあり、とても印象深い存在でした。

世界には多様な文化や宗教があります。それは「違い」であって、決して「良し悪し」ではありません。争いは善と悪の間ではなく、知識と無知の間で起こるのではないのでしょうか。

知識を知恵へと変えていくこと——それこそが平和につながると感じています。そして、その小さな種を育てる米山記念奨学制度の意義を、今回の研修を通して改めて強く実感しました。

この度の貴重な経験に、心から感謝申し上げます。

また本旅行に際し、多大なるご協力を賜りました長門RC・宇部西RCをはじめ、関係各位に厚く御礼申し上げます。





RI第2690地区(鳥取、米子市)地区大会に参加して

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 ガバナー
土肥 慎二郎

2025年10月4日～5日、お隣2690地区(米子市)の地区大会に参加しました。

プログラムは以下の通りでした。

【1日目】

青少年によるポリオ根絶プログラム
地区指導者育成・新会員合同セミナー
基調講演:尾身 茂氏

「ポリオを知り行動しよう」

会長幹事会
歓迎晩餐会

【2日目】

本会議

記念講演:竹田 恒泰氏

「誇り高き日本の未来」



米子まで車で約3時間、前日に自分の地区大会の決起例会があったので夕方からの参加となりました。

ホテルに着くと、部屋には花が…。このホスピタリティには驚くしかありませんでした。

米子に着いた頃には終わっていましたが(笑)、午前中から学びのある興味深いプログラムをされていました。

特に、ポリオの根絶についてのセミナーや講演を重点的に行われていました。

歓迎晩餐会では、平井鳥取県知事、尾身茂先生も一緒に、楽しく過ごすことが出来ました。



坂口 元昭 ガバナー



尾身 茂氏



同期の仲間たち

二日目のメインイベントは、竹田恒泰氏による講演でした。

日本人であることを誇りに思い、ロータリアンとしても頑張っていこう、
そのように感じる事が出来た、楽しい時間でした。

全体懇親会が無いことにも驚きました。地区大会も場所によって様々です。



RI第2510地区(北海道、函館市)地区大会に参加して

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 ガバナー
土肥 慎二郎

2025年10月11日～12日、2510地区(函館市)の地区大会に参加しました。

プログラムは以下の通りでした。

【1日目】

会長幹事会

記念講演: 須田慎一郎氏

「日本経済の表と裏」

大晩餐会

ゲスト: 石野真子さん

【2日目】

本会議

基調講演: 刀根 莊兵衛氏(RID2650PG)

「ロータリー 120年の歴史に
学ぶ未来への道」



広島から羽田経由で函館までの約5時間、ビールを飲みながらの楽しい時間の始まりです。

初日は、「笑いしかない」大会でした。約15分にわたる大会実行委員長の挨拶?に始まり、記念講演は、

あの「そこまで言って委員会」のレギュラー、「オジキ」こと須田慎一郎さんの話でした。

「国民民主党と立憲民主党は絶対に組みませんよ」と予言され、見事的中しました。

懇親会では、石野真子さんのトークショーとミニコンサートで、玉井ガバナーも嬉しそうでした。



須田さんと



玉井ガバナー



同期の皆さん

翌日の本大会は、うって変わったような“マジメ”な会合になりました。

2650地区の刀根莊兵衛パストガバナー(敦賀RC)による「ロータリー 120年の歴史に学ぶ未来への道」という素晴らしい講演を拝聴しました。

北海道は広く、地元に戻るのが大変(遠いところは10時間)なため、大会は12:30に終了しました。

参加者の皆さんに弁当を配って、再会を誓いました。



2025-26年度IM開催予定表

グループ1	開催日時	2026年3月8日(日)	登録受付	12:30	開 会	13:30
	開催場所	山口県長門市深川湯本1051 湯本観光ホテル西京				
	内 容	■テーマ 「Enjoy奉仕で未来へ～ロータリーの力～」 ■講演 高崎RC 田中 久夫 パストガバナー ■パネルディスカッション 「我がクラブの奉仕はこれだ!!」				
	登 録 料	12,000円				
	IM実行委員長	山根 満広				
	問合せ先	長門RC	TEL:0837-22-2266 E-mail:nrc@ncci.or.jp			

グループ2	開催日時	2026年1月24日(土)	登録受付	14:00	開 会	14:30
	開催場所	国際ホテル宇部				
	内 容	■問題提起 テーマ「あなたのクラブをデザインしてみよう」 ■ワークショップ テーマ「わがクラブの現状・課題・自慢できること」 (全員参加によるワークショップ)				
	登 録 料	10,000円				
	IM実行委員長	西村 雄一				
	問合せ先	小野田RC	TEL:0836-81-5245 E-mail:onoda.rc@alto.ocn.ne.jp			

グループ3	開催日時	2026年2月14日(土)	登録受付	13:30	開 会	14:00
	開催場所	かめ福オンブレイス				
	内 容	■テーマ 「未来のこどもたちのために 今できること!」 ■第一部 講演 やまぐち昆虫学会 会長 角田 正明様 ■第二部 講演 子ども万博実行委員長 手塚 麻里様				
	登 録 料	10,000円				
	IM実行委員長	上村 卓司				
	問合せ先	山口南RC	TEL:083-922-7303 E-mail:office@y-minami-rc.net			

グループ4	開催日時	2026年3月7日(土)	登録受付	15:00 (予定)	開 会	15:30 (予定)
	開催場所	遠石会館				
	内 容	■テーマ 「AI(人口知能)の進化について考える」(予定) ■講演-1 「AI基礎講座」 周南公立大学 情報科学部 橋本喜代太教授(予定) ■講演-2 「ロータリー財団奨学生について」 徳山高専 阿部恵校長(予定)				
	登 録 料	10,000円				
	IM実行委員長	加茂 孝				
	問合せ先	徳山東RC	TEL:0833-43-6400 E-mail:east-rc@tokuyama-e-rc.org			

グループ5	開催日時	2026年3月22日(日)	登録受付	13:30	開 会	14:00
	開催場所	岩国国際観光ホテル				
	内 容	■テーマ 「教育を通じた地方創生」 ■基調講演Ⅰ 「留学について」 徳山工業高等専門学校 校長 阿部 恵 様 ■基調講演Ⅱ 「留学を通して学んだこと」 ヘルシンキ大学社会科学部障害学教授 勝井 久代 様 ■パネルディスカッション テーマ 「教育を通じた地方創生」 コーディネーター IM実行委員長 松川 卓司 コメンテーター 徳山工業高等専門学校 校長 阿部 恵 様 ヘルシンキ大学社会科学部障害学教授 勝井 久代 様 岩国市教育長 守山 敏晴 様				
	登 録 料	10,000円				
	IM実行委員長	松川 卓司				
	問合せ先	岩国中央RC	TEL:0827-43-2270 E-mail:iwakuni.c-rc@waltz.ocn.ne.jp			

グループ6・7合同	開催日時	2026年2月15日(日)	登録受付	13:30	開 会	14:00
	開催場所	(会議・基調講演) 広島コンベンションホール (懇親会) シェラトングランドホテル広島				
	内 容	■テーマ 「奉仕を通じて魅力的なクラブ作りを!」 ■記念講演 東京科学大学教授 中島 岳志氏 テーマ 「利他と中間団体」 ■懇親会 ※移動します徒歩5分程度 広島コンベンションホール→シェラトングランドホテル広島				
	登 録 料	12,000円				
	IM実行委員長	大畑 哲也				
	問合せ先	広島城南RC	TEL:082-221-4894 E-mail:hjrc@godorc.gr.jp			

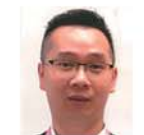
グループ8	開催日時	2026年4月25日(土)	登録受付	12:20	開 会	13:00
	開催場所	呉阪急ホテル				
	内 容	■テーマ 未定 ■基調講演 講師 元内閣総理大臣 岸田 文雄 ■ディスカッション 各クラブ会員から海外での奉仕活動の報告				
	登 録 料	10,000円				
	IM実行委員長	小林 通匡				
	問合せ先	呉東RC	TEL:0823-24-4411 E-mail:info@kure-east-rc.org			

グループ9	開催日時	2026年3月28日(土)	登録受付	13:00	開 会	13:30
	開催場所	広島エアポートホテル				
	内 容	■テーマ 未定 ■講演 「小早川隆景が戦国の世をどのように立ち回ったか」(仮) 静岡大学名誉教授 小和田 哲男 様				
	登 録 料	会員登録 3,000円 参加登録料 13,000円				
	IM実行委員長	重森 佳代子				
	問合せ先	広島空港RC	TEL:0848-86-0986 E-mail:hiroshimakukorotary@gmail.com			

グループ10・11合同	開催日時	2026年3月20日(金)	登録受付	12:30	開 会	13:00
	開催場所	福山ニューキャッスルホテル 3F 光耀の間				
	内 容	■テーマ 「ロータリーの未来予想図」(案) ■第1部 基調講演 「AIで描く地域社会の未来予想図」(案) 講師 ソフトバンク株式会社専務執行役員兼CTO 佃 英幸 様 ■第2部 パネルディスカッション 「活かそうテクノロジーを! 広げようロータリーを!」(案) パネリスト:ソフトバンク 佃 英幸様 Google Japan 上野由美様 福山市長 枝広 直幹様				
	登 録 料	全員登録 9,000円 参加登録 3,000円				
	IM実行委員長	グループ10:佐藤 邦彦 ・ グループ11:岩永 光司				
	問合せ先	福山赤坂RC	TEL:084-920-4141 E-mail:info@fa-rc.jp			

グループ12	開催日時	2026年3月14日(土)	登録受付	12:30	開 会	13:00
	開催場所	三次グランドホテル				
	内 容	■テーマ 「本年度のクラブスローガン」 第1部 本年度の奉仕活動と継続している奉仕活動について 第2部 基調講演 講師:南一誠(タイトルは未定)				
	登 録 料	12,000円				
	IM実行委員長	信国 秀昭				
	問合せ先	三次中央RC	TEL:0824-64-1245 E-mail:m-c-rc@vega.ocn.ne.jp			

国際ロータリー第2710地区 — 2025-26年度 新会員紹介 —

 谷本 由佳 宇部RC 2025年11月6日 生命保険	 宮崎 裕子 山口RC 2025年11月5日 生命保険	 門脇 まゆみ 周南西RC 2025年12月9日 生花販売	 八木 信也 周南西RC 2025年12月9日 地方銀行	 高野 渉 徳山RC 2025年10月23日 団体保険
 福田 浩則 広島RC 2025年11月25日 ビール配布	 反田 剛志 広島安佐RC 2025年10月2日 保険代理店	 住田 一英 広島安佐RC 2025年11月6日 酒類食品販売	 西本 進之助 広島北RC 2025年11月27日 総合ディスプレイ	 レーミンアイン 広島城南RC 2025年11月29日 人材派遣
 高田 芳浩 広島西南RC 2025年11月11日 化学薬品	 川口 茂博 広島新世代RC 2025年11月6日 不動産業	 拜郷 孝人 広島新世代RC 2025年11月17日 商業デザイナー	 田中 健太郎 福山RC 2025年11月17日 証券業	 大橋 秀雅 福山RC 2025年12月1日 テレビ放送

謹んで哀悼の意を表します

 故 村田 昌志 殿 萩RC 2025年11月7日 ご逝去 (享年93歳) [職業分類] 学校法人 [ロータリー歴] 1989-90年度 会長 1992-93年度 RI第2710地区 第2分区分代理 ポール・ハリス・フェロー +2 第1回米山功労者	 故 砂田 泰彦 殿 萩RC 2025年11月11日 ご逝去 (享年81歳) [職業分類] うどん店 [ロータリー歴] 2004-05年度 会長 2007-08年度 RI第2710地区 代表幹事 ポール・ハリス・フェロー +3 第4回米山功労者	 故 沖村 和也 殿 岩国西RC 2025年11月10日 ご逝去 (享年91歳) [職業分類] 郵便事業 [ロータリー歴] 副会長・副幹事・副S.A.A・ 委員長歴任 ポール・ハリス・フェロー 米山功労者
 故 濱本 敏治 殿 因島RC 2025年11月21日 ご逝去 (享年75歳) [職業分類] 船舶配管 [ロータリー歴] 2014-15年度 会長 2020-21年度 会長 2024-25年度 幹事 ベネファクター ポール・ハリス・フェロー	 故 田邊 良造 殿 尾道東RC 2025年11月8日 ご逝去 (享年80歳) [職業分類] 機械塗装機器製造 [ロータリー歴] 2007-08年度 会長 マルチブル・ポール・ ハリス・フェロー (PHF+1) 第3回米山功労者 マルチブル	

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度会員増減・出席率(2025年11月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
1	長門	86.90	25	25	3	1	1
	下関	71.66	43	45	2	2	0
	下関中央	68.54	38	39	7	1	0
	下関東	70.18	65	65	6	1	1
	下関北	71.52	58	58	4	0	0
	下関西	80.60	33	32	0	0	1
	計	74.90	262	264	22	5	3
2	萩	78.92	42	41	3	1	2
	萩東	82.26	25	24	1	0	1
	美祿	69.49	18	20	1	2	0
	小野田	81.39	31	38	4	8	1
	宇部	94.04	38	37	5	1	2
	宇部東	73.71	9	9	1	0	0
	宇部西	85.83	49	50	6	1	0
	計	80.81	212	219	21	13	6
3	防府	89.91	57	57	2	1	1
	防府北	81.78	22	22	3	1	1
	防府南	83.68	44	45	9	1	0
	山口	78.23	44	49	5	5	0
	山口県央	85.83	24	25	2	1	0
	山口南	94.23	42	42	7	0	0
	計	85.61	233	240	28	9	2
4	光	79.73	52	54	5	2	0
	周南西	83.14	57	56	6	1	2
	徳山	98.95	40	43	2	3	0
	徳山セントラル	79.43	20	21	3	1	0
	徳山東	100.00	42	42	2	0	0
	計	88.25	211	216	18	7	2

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
5	岩国	74.86	66	68	1	2	0
	岩国中央	85.28	38	39	6	1	0
	岩国西	84.12	64	65	6	2	1
	柳井	88.09	25	25	1	0	0
	柳井西	98.80	26	26	6	0	0
	計	86.23	219	223	20	5	1
6	広島	99.54	123	133	3	12	2
	広島安芸	99.61	33	35	4	2	0
	広島安佐	81.82	13	16	3	4	1
	広島東	96.32	108	122	11	15	1
	広島北	93.43	102	102	0	1	1
	広島陵北	96.31	44	45	3	3	2
	大竹	84.51	24	25	0	1	0
	計	93.08	447	478	24	38	7
7	広島中央	100.00	62	64	5	3	1
	広島廿日市	86.41	24	23	3	0	1
	広島城南	100.00	40	39	3	1	2
	広島南	100.00	86	87	1	3	2
	広島東南	100.00	84	86	12	3	1
	広島西南	99.55	77	78	5	3	2
	広島西	99.61	92	93	7	2	1
	計	97.94	465	470	36	15	10
8	江田島	92.48	17	17	0	0	0
	東広島	83.20	23	25	3	2	0
	東広島21	88.71	21	21	3	1	1
	呉	84.59	71	71	5	0	0
	呉東	76.82	34	35	3	1	0
	呉南	92.36	43	44	1	1	0
	西条	99.91	44	46	1	2	0
	広島新世代	31.85	0	22	3	22	0
	計	88.75	253	281	19	29	1

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
9	広島空港	82.48	28	27	4	0	1
	因島	93.56	14	15	0	4	3
	三原	87.48	49	50	1	1	0
	尾道	73.32	77	78	2	1	0
	尾道東	87.85	47	47	7	2	2
	計	84.94	215	217	14	8	6
10	府中	86.64	14	14	2	0	0
	福山	93.37	85	84	2	3	4
	福山東	77.57	32	36	2	5	1
	福山丸之内	88.38	22	22	1	0	0
	鞆の浦	72.03	15	15	0	0	0
	福山REC2710*	100.00	7	7	1	0	0
	計	86.33	175	178	8	8	5
11	福山赤坂	80.96	52	52	4	0	0
	福山北	91.54	32	30	2	0	2
	福山南	72.22	56	59	4	3	0
	福山西	86.54	40	39	5	2	3
	松永	96.22	54	54	7	0	0
	計	85.50	234	234	22	5	5
12	吉舎	94.81	9	9	0	0	0
	三次	70.71	40	42	1	2	0
	三次中央	93.32	33	32	5	0	1
	庄原	91.84	26	25	2	0	1
	東城	92.63	14	13	0	0	1
	計	89.76	122	121	8	2	3
	第2710地区計	86.31	3048	3141	240	144	51

*正式名称「福山ロータリー・ミクラブ2710」

地区大会 in 宇部



2026年
10月23日 金
24日 土
25日 日



2026-27年度

国際ロータリー第2710地区

地区大会 大会事務局

〒755-0043 宇部市相生町8-1 宇部興産ビル6F

TEL 0836-35-2776

地区大会 前日

10月23日 金

■ 宇部72カントリークラブ・阿知須コース
「記念ゴルフ大会」

地区大会 1日目

10月24日 土

■ 国際ホテル宇部

- 大会委員会
- 会長・幹事会
- 基調講演・三浦 房紀 氏
- RI会長代理歓迎晩餐会

地区大会 2日目

10月25日 日

■ 大会／宇部市渡辺翁記念会館

- 本会議
- 記念講演

元バドミントン日本代表
小椋 久美子 氏



〔プロフィール〕
三重県出身。8歳の時、姉の影響を受けバドミントンを始める。2001年の全国高校選抜でシングルス準優勝を果たす。三洋電機入社後の2002年には全日本総合バドミントン選手権シングルスで優勝。その後、ダブルスプレーヤーに転向し、北京オリンピックで5位入賞、全日本総合バドミントン選手権では5連覇を達成。2010年1月に現役を引退。現在は子供たちへの指導を中心にバドミントンを通じてスポーツの楽しさを伝える活動を行っている。



国際ロータリー第2710地区
2026-27年度 ガバナー

わき 和也
脇 和也

ホストクラブ 宇部ロータリークラブ

コ・ホストクラブ 宇部西ロータリークラブ
宇部東ロータリークラブ